

第64回小金井市市民参加推進会議

日 時 令和4年6月27日（月）午後7時00分～午後8時10分

場 所 市役所本庁舎第一会議室

出席委員 8人

委員長 松田 恵 示 委員

副委員長 金尾 悠 香 委員

委 員 岡田 一 美 委員 橋田 壤 志 委員

竹田 祐美子 委員 中村 彰 宏 委員

森田 眞 希 委員 天野 建 司 委員

欠席委員 4人

鴨下 明 子 委員 村本 萌 委員

南 貴 之 委員 加藤 明 彦 委員

---

事務局職員

企画政策課係長 中川 法 子

企画政策課主任 野村 啓 介

---

傍聴者 1人

（午後7時00分開会）

◎松田委員長 それでは、皆様、こんばんは。定刻になりましたので、第64回市民参加推進会議を始めさせていただきます。

では、会議に先立ちまして、本日の欠席委員等の状況につきまして、事務局からお願いいたします。

◎事務局 本日の委員の欠席の連絡についてですが、鴨下委員、南委員、村本委員、加藤委員から欠席の連絡が入っております。

定足数につきましては、市民参加条例施行規則第24条で、半数をもって成立することになってございますので、本会議は成立しているということを御報告申し上げます。

以上です。

◎松田委員長 ありがとうございます。

本日は第8期の市民参加推進会議の最後の開催日になります。西岡市長も御出席いただいております。

◎西岡市長 お願いします。

◎松田委員長 お願いいたします。

我々が令和2年7月から2年かけてまとめてきました提言を、6月1日に市のほうに提出しております。本日、西岡市長から提言に対する市長御意見をいただき、その後、委員お一人お一人からコメントをいただき、御歓談いただく時間をとっております。

それでは、まず、配付資料について、事務局から御確認をお願いいたします。

◎事務局 本日は、企画政策課長の堤が欠席になっております。皆様の会議の最終日に出席できず、大変失礼いたしました。代わりまして、係長の中川が、本日事務局を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

それでは、資料の確認をいたします。本日の資料は、まず次第、それから、資料1「第8期小金井市市民参加推進会議提言」、資料2「市民参加条例第27条第1項の規定に基づく提言に対する市長の意見」、資料3「第9期市民参加推進会議の構成について」、資料4「市民参加条例対象附属機関等設置状況」、以上5点になります。配付漏れ等はありませんでしょうか。ありがとうございます。

以上です。

◎松田委員長 それでは、次第2の(1)「提言の受け渡しについて」を議題といたします。事務局から、内容の御説明をお願いいたします。

◎事務局 事務局、中川です。資料1の「第8期小金井市市民参加推進会議提言」をご覧ください。こちらが第8期市民参加推進会議でまとめていただいた「理想の市民参加」の提言となります。こちらの提言を松田委員長より市長へお渡ししたいと思っております。委員長と市長の写真を撮らせていただきたいと思いますと思っております。委員長と市長の写真撮影の後に、皆様の集合写真も撮らせていただきたいと思いますと思っております。これは、ホームページ等にアップするものではなくて、事務局の資料として使わせていただけたらと思っておりますので、御参加いただけたらと思っております。

それでは、委員長、市長よろしくお願いいいたします。

◎松田委員長 それでは、第8期の市民参加推進会議の提言を市長にお渡ししたいと思います。どうぞよろしくお願いいいたします。

◎事務局 皆様、御協力ありがとうございました。

以上で、議題の1の「提言の受け渡しについて」は終了になります。

◎松田委員長 皆様、撮影への御協力ありがとうございました。

それでは、次第2の(2)「提言に対する市長意見について」を議題とさせていただきます。まず、事務局から御説明をお願いいたします。

◎事務局 事務局です。

それでは、資料2「市民参加条例第27条第1項の規定に基づく提言に対する市長の意見について」をご覧ください。

こちらの意見につきましては、提言に対して一つ一つ市からの回答、市長からの回答を示したものになります。皆様のお手元にメールで先にお送りさせていただいてはありますが、この場で少し簡単に確認をさせていただきたいと思います。

まず、1ページ目をご覧ください。大きい項番の1、市民の意見に対する市のフィードバックについての「見える化」を徹底させ、市民の声と市政とが循環する環境作りを促すべきことについて。こちらにつきましては、市ではこれまでも1対1でいただいた御意見について回答をさしあげていたところでございますけれども、それを皆様が、ほかの方が見えるというような形でのフィードバックはあまり進んでいないところだったと思います。こちらにつきましては、「市長への手紙」等公開されていないものについて、公開が可能かどうか、順次検討して実施してまいりたいと考えてございます。「市民の声と市政への反映を循環させる」というお言葉をいただいております。つきましては、改めて循環が市民の目線で進むよう取り組んでまいります。

2、市民の意見を出しやすい環境作りについて。こちらについては、(1)から(6)までの御提言をいただいたところです。

(1)のところをご覧ください。市民参加条例について市民への改めての周知徹底等を図ることについて。こちらについては、市民参加条例があるけれども、やはりそこまで市民の方に周知されているとは言い難いという御指摘かと考えておまして、御提言のとおり、継続して周知を図っていききたいと考えてございます。

2ページ目、(2)時代に即したSNSの活用や二次元コードの利用などのツールを充実すべき点について。現在、市ではツイッターは運用しておりますし、二次元コードについても一部のチラシ等で活用はしておりますけれども、それが徹底しているかと申しますと、まだ不十分なところもございます。市民参加の課題や対象となる市民の方に適するように、時代に即した新たなSNSツールの活用や二次元コードについては、さらなる充実を図ってまいりたいと考えております。

(3)市民の意見を聞くためのツール及び手法について、市民参加の課題や集約すべき市民の対象に適するように、多様化させる工夫が必要なことについて。続いて、(4)市民意見の集約方法において、デジタルトランスフォーメーション(DX)を含む市民サービス向上を目指して、対象者層に合わせて市からの発信について多様な手段を備えることについて。こちらの2点については、まとめて御回答させていただいております。市では、現在、パブリックコメントにつきましては、郵送やファクス、それから、市HP専用フォーム等で実施しておりますけれども、この提言を踏まえまして、若者層等々、多様な方々へのSNSの活用、それから、デジタルトランスフォーメーションは、市全体の課題でもございます。効果的なツール及び手法について研究してまいります。また、今現在使っております郵送の手法ですとかファクスについても、こちらはそのまま活用していききたいと考えておりますが、対象者に合わせた市からの発信について、効果的と考えられるものについて、多様化や手段の拡充を図ってまいりたい

と思います。

(5) 市民がいかなる意見も安心して自由闊達な意見が出るような「場」作りについて。審議会をはじめとする各種の会議において、自由な発言が妨げられることのないように、引き続き、雰囲気作りについて、まずは職員の研修に取り組んでまいりたいと考えております。一方、審議会等においては、今回も松田委員長にさせていただいているように、委員長や会長が進行される審議会が多数ございます。安心して意見ができる雰囲気づくりについて、場作りの方法というものを、いろいろな審議会において取り組まれるように図ってまいりたいと考えてございます。

(6) 市民参加に当たっては、サイレント層を含む市民が課題を「自分事」「当事者事」として捉えられるようにすることについて。市民参加を進めていく上で、サイレント層の掘り起こしについては非常に重要な課題であると受け止めております。ほかの御提言でもいただいておりますが、具体性を意識すること、市民の負担がない、例えばアンケートを記入し郵便で送り返すといったことに対して、非常に時間が取られてしまうというようなこともあるかと思っておりますけど、そうではなくて、クリック1つで回答できるような方法があれば、サイレント層の掘り起こしということにつながっていくのではないかという御提言と考えております。提言の趣旨を踏まえて、取組を検討してまいりたいと思っております。次期の市民参加推進会議においても御議論いただけるようにと、引き続きの課題として考えているところでございます。

以上、簡単ですが、市長の意見についての説明になります。

◎松田委員長 ありがとうございます。

提言に対しまして、市長から御意見をいただきました。今、聞いていただきまして、皆様のほうから、さらに御確認や御意見等ございましたら、御発言いただきたいと思います。いかがでございましょうか。よろしいですか。

こういう形で、すぐに御対応を検討くださっているものと、少し研究を進めていきたいというようなことで、回答は1つ1つ提言に対して御意見をいただいておりますので、ここをまた起点にして、市民参加ということは非常に大きな課題ですので、引き続き御対応を進めることができればと思います。本当にありがとうございました。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎松田委員長 それでは、市長がいらっしゃいますので、委員の皆様から今期の会議の感想をお一人ずついただきまして。金尾委員から順番に時計回りでいただきまして、最後に市長からもコメントいただければと思います。

◎西岡市長 はい。

◎松田委員長 それでは、よろしく願いいたします。

◎金尾委員 金尾でございます。今期、2年弱ということになるかと思っておりますけれども、委員の皆様、それから市政に携わられる皆様に大変お世話になりありがとうございます。それから、本日、今期の最終回を迎えまして、提言を無事市長にお渡しできて、また、市長のほうからも

御意見を御回答いただけるところになり、大変安堵しているというのが率直な感想というところでございます。

市長の回答を拝見しましても、それから、提言に至る間を振り返りましても、我々が考えている、やっていただきたいこととか、市政に反映していただきたいということは、一部既に実現していただいていたたり、それから、市長からの御意見の回答でも、ますますの拡充という意味で前向きな検討をしていただいているというところで、やはり向いている方向は同じなのかなというふうにも受け止めております。

そういった意味で、今期は2年弱ということでもございましたけれども、小金井市のますますの発展と、それから、自由闊達な市民参加の場が確保されて、維持されていること、それから、今期は特にコロナで始まっていたかと思ひまして、運営するにも、前の期までとは全然違った、異なった大変さがあったかと思ひますけれども、いい面もあったかと思ひますので、ますますの市民参加の発展、維持というんですかね、発展と小金井市の発展を願っておりますという感想でございます。

以上です。ありがとうございます。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎松田委員長 竹田委員、お願いします。

◎竹田委員 竹田です。

2年弱ということで、普通の一般市民からの参加だったんですけれども、皆様、大変お世話になりました。一般市民として、子どもが保育園に通っているんですが、その園長に聞いたところ、やっぱり言いたいことはあるんですけど、どう言えばいいか分からないと言ひまして、私が代わりに聞いてきたこともあるんですが、お伝えしてもよろしいでしょうか。公園の砂場に、何か猫よけのネットを張ってほしいという意見と、できれば消毒もという意見をいただきました。

2年弱で、回数もそんなになかったので、慣れてなかったのも、皆さんに御迷惑をおかけしましたが、来期もまた、できれば応募したいと思っております。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎松田委員長 橋田委員、お願いいたします。

◎橋田委員 橋田です。

本当に2年弱、ありがとうございます。私も一般市民として参加させていただきまして、こういったことを、多分普通に暮らしていたら、考える機会がないもの考えるに当たって、なかなかやはり具体的に何か意見を求められたときに、うまく言えないことが多くて、そういったことも考えて、どう伝え、どういう表現をすれば伝わるかとか、本当にそのレベルですけど、そういったことを考えるだけでも、かなり自分にとっては有意義だったなと思ひます。

この提言についても、幅広くいろんな人の意見を酌み取りたいみたいなのところが全般にある

と思うんですけど、例えばSNS、ツイッターが何ですごいか、自分なりに考えて、「いいね」とかについて、「いいね」というのが賛同のことだと思うんですけど、多分自分一人ではうまく具現化できないことを、誰かがうまく表現してくれていて、それに対して、自分も本当はこういうことが言いたかったっていうのを表明できる、選挙に近いとか、誰かがうまく言ってくれていることに、自分も実はこういうことを言いたかったっていうのを表明できるっていうので、すごくいいシステムだなんて改めて考えまして、何かこういうのも、誰かがうまくこういうことをしたいみたいなことを、市民の方が幅広く見られるようにすることで、もしかすると、実はこういうことが自分は言いたかったんだというふうな意見として、どんどん参加できるんじゃないかとか、SNSを活用するとかいう意味でいうと、そういったものをうまく利用していければ、もっと市民が市政に参加しているっていう気持ちが高まってくるんじゃないかと思いました。

以上です。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎松田委員長 ありがとうございます。

岡田委員、お願いします。

◎岡田委員 岡田と申します。市民の一般の者です。

私は前回からなので、4年弱となります。ちょうど2年前に提言の提出のときに、提出を一緒にさせていただいて、すごく印象深かったです。もともと主人の転勤で東京におりまして、御縁があって小金井市に住むことになりまして、市政と市民の近さとか、こうやって市長さんとこんな形でこういう会が開けるということに、まずすごく驚いたのと、すごく私たちの意見を聴いてくれるという姿勢が、こんなにもあるものなんだなということにすごく感心いたしました。

4年前と、この今の期の2年前とでは本当に状況がまるで違って、とにかく前はワークショップも、みんなと近くなる、みんなと会う、とにかく人と接する、もう何だったら市役所の人が駅に立って挨拶するぐらいの勢いでやっていたんですけども、もうコロナでいろんなことが変わって、すごく勉強になったこの2年間だったんじゃないかなと思います。東小金井駅を使っているんですけど、すごく活気も出てきたなと最近すごく感じていて、夜なんか、ちょっと駅のほうで運転とかしていると、ものすごく学生さんたちも活動され始めていて、ますます今後小金井市も発展していくんじゃないかなと、私なりに思っています。2年間、本当にありがとうございました。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎松田委員長 では、森田委員、お願いします。

◎森田委員 森田です。

私は仕事も住まいも小金井なので、市民として、あるいは仕事をする上で、参加をどんどんしていけないと、もうそのまま生活に直結しているということでは、これまでも真剣に前向き

に参加してまいりました。ただ、そもそもいろんな若い人たちにもどんどんと積極的に参加してもらいたいなと思って、職場の若い人たちを眺めると、やはり意見を出すときの態度というんですかね、姿勢というか、慣れていないというのをよく聞くんですね。これは、私自身も一貫してずっと思っておりますが、やっぱり小さい頃からそういった参加するということの大切さとか、あとはそれが習慣になっていくのか。大人になって突然、これまでそういったものもなかったのに、突然意見を求められても、やはりそれはうまくいかないことですので、小さい頃からの参加をする、意見をしていくということの学びってとても大切なのではないのかなと思っています。

私もそろそろ若い人たちへバトンタッチしていきたいなと思っておりますが、難しいところではあると思っております。これから住み続けていく上ではまた積極的に参加していくことでしょう。どうもありがとうございました。

◎西岡市長 ありがとうございます。

◎松田委員長 中村委員、お願いします。

◎中村委員 中村です。

私は市民団体代表枠ということで、皆さんと御一緒させていただきました。約2年間、皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。この場を借りて、御礼申し上げます。

回を重ねるごとに、やっぱりなかなか前回と重なる提言を出すわけにもいきませんし、なかなか選択肢が狭まる中で、皆さん非常に活発に意見を、委員の皆さん活発に意見をおっしゃっていただけるとともに、委員長、副委員長のほうで非常にうまくみんなの意見をまとめ上げていただいたなと感心しております。ありがとうございました。

提言の中でもうたわれていますが、市民参加に当たっては、サイレント層を含む市民が課題を自分事、当事者事として捉えられるようにするというところで、ここについては、私が強く主張したことでもあり、取り上げていただいてありがたいと思うわけで、今後も市民参加の分野においては、福祉用語でいうアウトリーチというのは、やっぱりその手法が取り入れられて、何も言わない人に対して、行政の方から手を差し伸べて、意見を吸収していただくという姿勢が、市民参加においては大事じゃないかなと思います。その辺りを、私どもの提言だけでなく、行政として、行政の方も皆さん真面目で一生懸命やっている職員の方が多いと思いますので、それを必ずや実現していただけるのではないかと期待感を持っておりますので、今後とも、行政には期待を多く持っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

◎西岡市長 ありがとうございました。

◎松田委員長 天野委員お願いします。

◎天野委員 まず、推進委員の皆さん、今回の「理想の市民参加ー市民参加の更なる推進に向けてー」ということで、御審議、それから御提言いただきまして、ありがとうございました。

御提言におきましては、本当に令和2年度のコロナ禍の時期から議論され、令和3年度では、

さらに厳しい状況の中、最上位計画である第5次基本構想は、年度末まで議論が行われ、議決された状況でもありました。そして、令和4年度においては、新しい生活様式、ニューノーマルの時代なわけで、まさにその時代の提言と考えています。

提言の中で、主なものだけ少しだけお話しさせていただきますと、1つ目、市民参加の仕組み、市民の声と市政への繁栄を循環させることにつきましては、市民目線で、改めて市民参加を考えることが必要かと思っています。

提言(2)の②、③、④辺りですけれども、市民の意見等や情報発信については、ポストコロナ時代におけるオンライン会議の開催、それからツイッター、そして、これまでの市報、ホームページ等の情報発信ですが、これからも多様な情報発信に積極的に努めていきたいと思えます。それから、DX、デジタルトランスフォーメーションですけれども、市としてもこれからの方針を改めて策定いたします。市民目線でのサービスの質の向上、業務の効率化ということがありますが、チャットやオンラインミーティング、様々な市民協働、地域連携など新たなつながりをDXにおいて検討していこうと思っています。また、これまで地域コミュニティを創造してきた絆においても、また改めて戻るといふか、始まるかなと思っています。先ほど言っていたようなワークショップ、ああいうことによって、皆さんとこういった市民参加の推進会議においてもいろんな話ができたとすることは、非常に僕は大事だと、今も思っております。

それから、(2)の⑥のところなんですけれども、サイレント層を含む市民が課題を自分事などとして捉えられるようにすることについてです。第5次基本構想では、参加と協働をさらに進め、少子高齢化、人口減少社会に対して、まちへの誇りと愛着が大事であり、そのためには当事者意識を持ち、シビックプライドを醸成することが必要であります。そして、様々な情報発信を行い、選ばれるまちづくりを進めるということが、本市の行政経営でもあります。したがって、今回いただきました提言を踏まえて、第5次基本構想における基本計画、そして行財政改革の方針でもあるDX推進、そして参加と協働を進めていくこととなりますが、この社会経済状況における市民参加について、また皆さんと一緒に検討してまいりたいと思っていますので、どうぞよろしく申し上げます。今回、御提言をいただきまして、ありがとうございました。

◎西岡市長 ありがとうございました。

◎松田委員長 それでは、最後に西岡市長より一言お願いいたします。

◎西岡市長 皆様、本当に大変お忙しい中、最終回、市民参加推進会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。今日は特に大変な猛暑、電力需給ひっ迫注意報が発令されるなど、気温も大変お暑い中、御出席いただきましたこと、本当に感謝申し上げます。また、2年間にわたりまして、御熱心に活発な御意見をいただきながら、交わしながら、提言に結びつけていただきましたこと、改めて御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。松田委員長をはじめ、皆様方から本日いただいた提言に基づきまして、市長としての意見を本会議に表明さ



せていただきました。本日、皆様方にお示しさせていただきました市長意見につきましては、実践に全力で努めてまいります。よろしく願いいたします。

市長就任以来、市民の力、地域の力がもっと生かされる小金井でありたいというのが、幾つか掲げた私の大切な指針、姿勢の一つでありまして、この気持ちをこれからも貫いてまいりたいと思っております。言うまでもなく、この基礎的自治体は、市民に最も身近な自治体でございますが、行政の力だけで、行政だけで自治を行うということ、また市政運営を行っていくことはもちろんできません。そこに暮らす市民の皆様方の声をいただきながら、また参加もしていただきながら、協働の意識というものを持って、市民の皆様方と一緒に自治をしていく。そして、小金井市には、言うまでもなく、12万4,000人の方々がお暮らしをし、そしてお一人お一人が様々な思いを持って、それぞれお一人お一人の人生が、このまちで謳歌できるように、市長としては全力を尽くして努力してまいりたいと考えております。

その中で、このたび第5次小金井市基本構想・前期基本計画というものが、やっと議会の御議決をいただきまして、まとまりました。これは、言うまでもなく、小金井市の最上位計画です。最も重要な小金井市の計画です。この計画に基づいて、いろんな計画が、保育であったり、環境であったり、防災であったり、様々なものがつながってまいります。この計画の策定にあっては、これまで市民参加推進会議の皆様方からお寄せいただいた様々な御提言も踏まえて、約3年間かけて策定に努めてまいりました。その中では、これまでも若者の参加、ワークショップの推進、あるいは無作為抽出の活用などなど、様々な御意見をいただきました。この最上位計画は、どのようなプロセス、過程を経て策定するか、これが非常に重要です。もちろん実践が何よりも重要でありますけれども、この策定が非常に重要でありまして、どれだけたくさんの方々に関わっていただいて、どれだけたくさんの方々の声を聴いて策定できるかというのは、最大のポイントの一つだと思っています。

まだまだやれることはあったかもしれませんが、今回、無作為抽出や、あるいは小学生の子どもたちに未来の小金井について絵を描いていただいたり、中学生の皆さんに、小金井市の新しいスローガンを決めていただきました。「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」というのを、中学生の皆さんに考えていただいて、中学生の皆さんと懇談会をやりました。また、アオハルカイギということで、青春ですね、高校生の皆さんにワークショップをやっていただいて、どんなまちになってほしいか、未来の小金井について議論していただきました。私も参加させていただきました。それから、1839会議ということで、これは18歳から39歳の若い方々に小金井の未来について語っていただく、思いをぜひ発信していただく、そういうワークショップをやりました。その他様々なことを行わせていただきました。大学生に向けては、初めてアンケートを取らせていただきました。また市民の方々には、3,000人ぐらいの方々にアンケートを取らせていただきました。もっともっとできることはあったのかもしれませんが、策定の中で、限られた時間の中にあっては、私は一定の過程を経て策定できました。そして、市議会の皆様方からも多様な御意見をいただきまして、最終的には3

月28日に策定させていただきました。

このようなプロセスを経ることができましたのは、やはり市民参加推進会議の皆様方のこれまでの熱い御議論や御提言があったものと受け止めております。そのほかにも都市計画マスタープランなど、これは10年に一度作るんですけれども、これに合わせて40、50近くの計画を一斉に改定作業を行うんですけれども、それぞれの計画にも様々な工夫を凝らす努力はしていますが、まだまだ十分ではありませんので、次のこの提言を生かしていけるように、全力で努力してまいりたいと考えております。

本日、皆様方から様々な御意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

市民参加推進会議と小金井市が同じ方向を向いていることはよかったという御意見をいただきまして、ありがとうございました。まだまだ私たちは、皆様方の御提言をこれから実践するという段階ですから、第8期の皆様方から、この提言に基づく意見がどうであったか、それなりの御評価をいただけるように努力してまいりたいと思っております。金尾委員ありがとうございました。

また竹田委員、保育園の園長様にお伝えください。思った意見は、遠慮なくお話しください。小金井では、私立の保育園、園長会、必ずやっています。年に複数回やっています。それから、いつでも保育課のほうに、何か思うところがあったら、遠慮なく御意見をいただき、声を発していただきたいと思っております。今日いただいた御意見は、私から担当に責任を持ってしっかりお伝えしていきますので。

◎竹田委員 ありがとうございます。

◎西岡市長 初めてこういった形に御縁をいただいて参加していただいて、来期も応募したいというお声をいただけるというのはとてもうれしいことです。本当にありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

また、橋田委員からは、特にSNSの活用についての御意見をいただきました。ありがとうございます。現在、ツイッターは各課でアカウントを取って、少しずつ充実してきましたけれども、まだまだ足りません。私も常々情報発信ということをととても大切にしています。特にコロナやワクチンや様々な支援策、今、情報があふれていますので、小金井市として正しい情報をしっかり発信することも大切であります。そして、SNSが市民の参加につながっていくという御意見、とても大切な御意見であり、意見表明にも書きましたけれども、現在、ツイッター以外の新たなSNSの活用などについても検討しているところでございまして、来年度、令和5年度からは新たな取組ができるように、力を尽くしてまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。

また、岡田委員からは、2期連続の参加ということで、ありがとうございます。まさに活気が出てきたということは大変ありがたいことです。おっしゃるように、コロナで本当に一転した分野もあります。また、ピンチがチャンスにつながっていくようにしなければいけないという思いもありました。特にこのコロナでは、やはりオンライン、ICTの活用がかなり進みま

した。審議会もオンラインと対面のハイブリッドで開催している審議会もございました。コロナが発生していなければ、もっと時間がかかったかもしれませんが、コロナの発生によって、庁内の、例えばオンライン会議もできるようになって、ペーパーレス化が推進されたりしています。現在、「ペーパーレス、FAXレス、はんこレス、キャッシュレス、タッチレス」という5つのレスが、東京都では大事だということで進められているところではありますが、コロナによってチャンスに変わったといえましょうか、そういったところは、決して流されずに、見逃がさず、切り替えて、プラスに転じていけるように努力してまいりたいと思います。ありがとうございます。

また、森田委員からは様々な面で御審議をいただき、ありがとうございます。若い世代、特に子どもたち、子どもの頃からの参加の経験をもっとできるような小金井になってほしいという思いだと思います。ありがとうございます。都市計画マスタープランや、環境計画や、ごみの減量や、長期総合計画など、様々な分野で子どもたちにもいろんな声をいただける機会は作ってまいりました。これからも、そういう機会を大切にしていきたいと思っています。特に今年の1月1日に、私、市長と教育長の連名で気候非常事態宣言という宣言を発信させていただきました。教育長と連名にしたのは、私としてはやっぱり環境問題、特に地球温暖化、これは長く取り組まなければいけない課題でありまして、今を生きる子どもたち、未来を担う子どもたちにも環境問題を一緒に考えてほしい、そういう思いを込めた、市長、教育長の連名でありまして、子どもたちがいろんな意見を表明できる、そういう機会を例えば環境面などでも作ってまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。

中村委員、ありがとうございます。サイレント層への対策としてのアウトリーチの必要性なども御指摘いただきまして、ありがとうございます。いろいろな手法がありますが、市民参加という意味では、無作為抽出は非常に効果的な、私は手法ではないかと思っています。この取組はもっと拡大していけたらいいなと、市長としては思っておりますし、また、提言書の中にもありますけれども、やはり意見の言いやすい場、参加したくなるようなシステム、こういったものを目指して、皆様方からの御提言を踏まえて取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

本日は、本当に御指摘をいただきまして、ありがとうございます。この第5次基本構想の中にも、みんなが進める市政というのが、3つの基本姿勢の一つでありまして、施策の29の中には、市民参加・協働というページも作らせていただきました。いただいた御提言、それから、第5次小金井市基本構想・前期基本計画を目指しまして、ここに書かれたことが実現できるように、一生懸命これからも取組を進めてまいりたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

本日は、大変にお忙しい中、お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。第8期の皆様方の、この培われたつながりをどうかこれからも大切にしていきたいと思えます。また引き続き、次の期にバトンが繋がってまいりますが、我々も間断なく取組を進めて

まいりたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

◎松田委員長 西岡市長、委員の皆様、本当にありがとうございました。

ここで、市長におかれましては、公務のため御退席となります。西岡市長、本当にありがとうございました。

◎西岡市長 ありがとうございました。引き続きよろしく申し上げます。失礼します。

(市長退席)

◎松田委員長 以上で、次第2の(2)を終了とさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

それでは、続きまして、次第2の(3)「第9期の推進会議の委員の募集について」を議題といたします。では、事務局から、御説明させていただきたいと思っております。お願いいたします。

◎事務局 事務局です。それでは、資料3の「第9期市民参加推進会議の構成について」という、A4、1枚のものをご覧ください。

市民参加推進会議の構成は、市民参加条例第28条に定められておりました、このように抜粋が載っております。市民の方が5人、市民団体代表の方が3人、学識経験者の方が2人、市の職員2人という構成になっております。現在の委員構成にあるとおり、今期は、市民5人の方のうち3人の方が公募、2人の方を無作為抽出で選出しております、委員をお引き受けいただいております。

無作為抽出による市民の選出方法というのは、第4期の推進会議で御提案いただいた方法になります。市の審議会や委員会に、普段は全く関心を持っていただけないような若い方に直接、委員会に参加されませんかとお願ひすることができるといふメリットがございます。一方、第6期の推進会議では、無作為抽出の枠をあまり増やしてしまいますと、若者参加には効果がある反面、参加したいと思っている方の枠がなくなってしまうという意見もいただいております。無作為抽出の枠につきましては規定はございませんので、例えば公募を2人、無作為抽出を3人とすることも可能でございます。事務局では、現在は無作為抽出の枠は、第8期の皆様と同じように2名で、続きまして第9期も行いたいと考えてございますが、第9期の推進会議の無作為抽出の枠は、現状どおりでよろしいでしょうか。御意見をいただけたらと思っております。

◎松田委員長 もし御意見ございましたら、お願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

◎橋田委員 それでいいと思っております。

◎竹田委員 それでいいと思っております。

◎松田委員長 ありがとうございます。

◎事務局 次に、今後の予定について、簡単に御説明いたします。今後、7～8月の間に、次期の第9期推進会議の委員の方の市民枠及び市民団体枠の方の募集を行います。この後、市報に募集の記事が載ります。9月頃に市民の無作為抽出の枠の方の抽出選出を行って、11月頃に第9期の委員会を開始できたらと考えてございます。

第9期の進め方については、以上です。

◎松田委員長 ありがとうございます。

そうしましたら、資料3にございますような事務局からの御提案と、少し御意見をいただきながら御説明いただきましたが、その内容で、第9期の市民参加推進会議の構成につきまして進めさせていただくということではよろしゅうございますでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次の議事に進ませていただきたいと思います。次第の2の(4)「市民参加条例対象附属機関等設置状況等について」でございます。それでは、事務局から御説明をお願いいたします。

◎事務局 事務局、野村です。

それでは、資料4「令和4年度市民参加条例対象附属機関等設置状況」をご覧ください。こちらは、令和4年4月1日現在の附属機関等の状況をまとめたものになります。市民参加条例の運用状況を確認するため、現状を報告するものです。附属機関等は、休会中の会議体も含めて79機関ございます。4月1日現在、委員になっている方の総数は814人、そのうち男性が527人、女性が287人であり、男性が65%、女性が35%となっております。条例上は、偏りがないようにとありますが、男性の方が多くなっております。また、公募委員については、条例上の決まりは委員のうち30%以上置くということになっております。専門的な会議など、公募委員をもともと置かない附属機関もあり、それらを除いた附属機関を分母とした実績は31%となっております。引き続き、条例趣旨を満たすように、周知を図ってまいります。

続きまして、同資料2ページ目以降、資料をご覧ください。市では、これまで附属機関等への市民参加を促進するため、公募による市民参加の手法を整備するとともに、無作為抽出の活用など、市民の市政への参加機会を拡充してきました。公募の審議会委員の無作為抽出につきまして、徐々にではありますが、実施した審議会が増えてまいりました。多様な市民参加に向けて、少しずつ拡充できているのかなと考えております。引き続き、参加及び議論のしやすい環境作りに努めてまいります。そのほかは、御参考にご覧ください。

説明は、以上です。

◎松田委員長 ありがとうございます。何か御質問等ございますか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、続きまして、次第の2の(5)「第8期市民参加推進会議のまとめ」に移らせていただきたいと思います。

本日が最終回ということで、この期はコロナの状況から始まって、大変会議も難しい状況の中での取組になりましたが、この会議に委員の皆様方から御参加された感想とか、あるいは今後の行政への期待というようなことでも結構でございますが、御発言、もしございましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。

◎森田委員 森田です。

意見というか、質問というか。私の職場では、今、20代、大学生のアルバイトの学生を積

極的に、このコロナ禍ということもあって雇って、学芸大学の学生さんも2人いるんですが、ただ、今、授業が始まって、やっぱりそこはオンラインというところは参加しやすかったと思うんですね。授業が始まるとなかなか、こういった会議に参加してほしくても、それがままならなかったりとかするんですが、例えば2人で1つの席を交代交代で参加するとか、そういうことは可能なものか。

◎松田委員長 なるほど。

◎事務局 事務局です。基本的にはお一人の方になっていただくのが基本ではありますが、他市の事例で、参加が難しいのを、お一方だと難しいので、お二人で代わる代わる出席されるといったことをした事例を見たことはございますが、お名前を登録させていただいて、審議会によっては特別職の公務員という形で任用されることもございまして、2人で1つの席を占められるかどうかについては確認させていただきたいと思います。

◎森田委員 ありがとうございます。

◎松田委員長 ありがとうございます。

本当にいい観点での御意見をいただいたかなと思います。もちろん責任を持った議論というのは必要なんですけれども、他方で、やはり負担ということはどう考えるのかというようなことがある中で、既存の形にとらわれず、それこそまさに理想の市民参加ということなのだと思うので、イノベーションを起こしていくというのは大事なことだと思います。そういう御意見を自由闊達にいただけるというのは、まさにこの推進会議だったんだなと思いました。ありがとうございます。

◎松田委員長 そのほかはいかがでしょうか。よろしいですか。委員長のほうから御指名させていただいて恐縮なんですけど、提言の作成に大変御尽力いただきました金尾委員のほうから一言いただければありがたいなと思って。お願いしていいですか。

◎金尾委員 はい。ありがとうございます。

提言は、主に前々回、それから、前回の会議でいただいた内容も、市民の委員の皆様の声を忠実に、でき得る限り忠実に反映させようとした提言になっているかなと思っております。これは感想なんですけれども。

それで、我々第8期の提言の中の一番の基本である、言った市民参加の声が、市政からどういう形で見える化、フィードバックされてくるかというお話があったと思うんですけれども、先ほど市長のほうから実践していただけると、実践に力を尽くしてくださるということがあったので、フィードバックを、我々が投げたボールをどういうふうに戻してくださるのかなというところを、まず第一に提言の見える化、フィードバックを待ちたいというのが、今後の行政への期待の一つでございます。

それから、それのほかに、先ほどの感想で、市民の我々のこの会議体と、あと市政の、市長の御回答があったとおり、大枠では向いている方向は一緒に安堵したという感想も申し上げているんですけれども、批判的に言えば、恐らく細かく見ていけば微妙な温度差や意見の違いが

あるかもしれないですし、あとはタイムラグというのも恐らく出てくることかなとも思います。それから、提言はあくまでも前回までのことですので、本日新たに判明した新たな課題というのがたくさんあったかと思うんです。先ほど市長が、責任を持ってお伝えするというふうな、担当の課のほうにお伝えいただけるという声もありましたけれども、本日の課題を含め、来期以降に議論を深めなければいけない点というのはあるのかなと思っております。

今期の提言は、理想の市民参加ということで、市民参加推進会議としてはもう最大の題目であったかと思えます。冒頭に松田委員長から、今期を起点としてということが、メッセージがございましたけれども、やはり来期以降に議論の深化というのをつなげていっていただければなど。不断の努力が必要になるものなんだなと思っておりますので、今期、ありがとうございましたということと同時に、来期、9期以降にも市民参加がますます発展して行って、議論をつなげていただければなと思っております。それをまたフィードバックしていただけるといいな、循環できるといいなと、今後の行政への期待と感想とさせていただきたいと思えます。

以上です。

◎松田委員長 ありがとうございました。

それでは、この第8期、これで終了させていただきたいと思えます。途中でもお話ございましたけれども、こういう会議で、いかに自由に意見が言える雰囲気を作れるかというのは本当に重要なことだと思うんですが、その意味では、いささかちょっと力不足のところはあったんですけれども、小金井市は本当に、それほど他の市を詳細に知っているわけではないんですけれども、ただ、僕が関わる範囲の中では、本当に市民と、岡田委員もおっしゃいましたけど、行政の距離が近い、そういう財産を持ったところだと思います。金尾委員が最後おっしゃっておられましたけれども、更なる発展を期しまして、今日はこれで終了させていただきたいと思えます。本当に長らくどうもありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第8期の市民参加推進会議は終了させていただきたいと思えます。どうもありがとうございました。

(午後8時10分閉会)